

R3(2021)ファーストステップ研修 成果報告

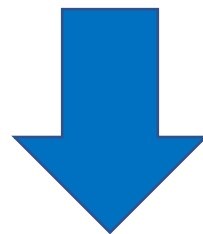
訪問看護における介護福祉士の役割について

2022/3/23

受講番号 21405

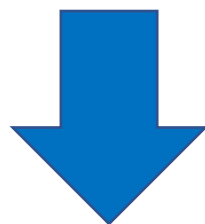
氏名 飯田 まどか

訪問看護で同行訪問する介護福祉士として、
思うことは？



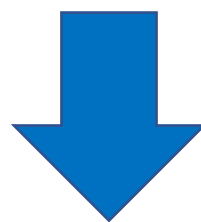
病状把握や治療だけでなく、安定した生活が「幸せ」
に繋がる。**介護福祉士の価値**である「幸せだと思っ
ていただだけけるケア」が必要だと感じている。

**利用者様の望む暮らしの実現と継続を生活
援助視点で働きかけるには何が問題？**



現場では看護師・利用者様・介護者様から意見を求められ答えているが、カンファレンスや担当者会議では医療従事者でないことから発言を控えてしまう。

訪問看護に介護福祉士が在籍していることが
チームの強みとなるのではないかと？



カンファレンスや担当者会議で生活援助の視点での
意見を伝えることで「**介護福祉士が一緒だから頼り
になる**」と**強み**になるようになればいいのではないかと
考えられる。

目的

- **訪問看護に介護福祉士である私がいることで、多角的にも多面的にも関わることができ、利用者様と介護者様の「幸せ」につながっていくことができる。**

多角的…それぞれの人の立ち位置に視点を置いて考えること。

多面的…いろいろな方面から物の在り方を見つめること。

1. 観察した事実を伝えられる環境を活用する。

看護師や利用者様・介護者様からの質問には答えてきたが、私自身の意見を言える場の確保が必要だから。

2. 意見は根拠を持って話す。

介護福祉士として、なぜそれが必要なのか？介護過程の展開をしたものを伝えることで専門性のある意見となるから。

評価方法

**1. いつ・どこで・誰が誰に・何を・どのように・・・
伝えることができる場を確保したのか？**

話した内容が記録に残っているか。

**2. 介護福祉士の価値である「幸せだと思っていただけ
けるケア」となることが伝わる提案ができたのか？**

相手の反応（表情・共感・質問）はどうか。

おわりに

- ◆訪問看護で**介護福祉士が専門性**をもって活躍するためには、介護過程の展開を行い課題を提案していく必要がある。
- ◆**生活援助者の視点**が、多（他）職種にも必要とされる存在であることが、あるべき姿であり、それぞれのサービスの質も向上し、利用者様の「幸せ」に繋がると考えられるからである。